

あしきた町議会だより

うたせ

第13号

平成20年5月16日発行

発行／熊本県芦北町議会 編集／議会広報特別委員会 TEL(0966) 82-2511・FAX(0966) 82-2894

- 
- 平成20年度当初予算…P2～3
 - 町長の施政方針（要約）……P4～5
 - 平成19年度補正予算（一般会計）…P6
 - 第1・2回臨時議会…P7
 - 総務常任委員長報告…P8～9
 - 建設経済委員長報告…P10～11
 - 文教厚生常任委員長報告…P12～13
 - 一般質問…P14～15
 - 議会のうごき…P16

統合して初めての田浦小学校入学式

3月定例議会

3月定例議会は、3月5日に招集され、19日までの15日間の会期で開催した。

上程された議案は、平成20年度当初予算をはじめ、平成19年度一般会計補正予算、各特別会計補正予算、芦北町後期高齢者医療に関する条例の制定ならびに条例の一部改正など34議案で、いずれも慎重審議の結果、全会一致で原案通り可決した。

また、陳情12件については、8件を採択、2件を不採択、2件を継続審査とした。

一般質問には2議員が登壇し、町執行部の考えや対応策などを聞いた。だした。

当初予算 1,678万円 原案可決

商工観光

商工業振興費 4,308万円



テラブローブ(株)九州事業所

観光費 5,786万円

芦北海浜総合公園管理費

6,364万円

御立岬公園費 1,044万円



芦北海浜総合公園

生活・福祉

障害者福祉費

3億7,162万円

社会福祉施設費

1億4,107万円

福祉センター管理費 962万円

高齢者福祉費

3億7,363万円

後期高齢者医療費

3億4,267万円

児童措置費 4億2,806万円

母子福祉費 266万円

保育所費 2億7,296万円



湯浦保育所

予防費 2,557万円

環境衛生費 2億1,480万円

健康増進事業費 5,472万円

浄化槽設置事業費 8,712万円

塵芥・し尿処理費

3億1,447万円

総務・消防

議会費 1億3,015万円

一般管理費 4億7,992万円

広報費 1,319万円

企画費 2億2,991万円



手挽き石臼そば体験会

交通安全対策費 775万円

基幹支所費 7,518万円

ふるさと創生事業費 500万円

高速交通対策費 3,585万円

防犯対策費 515万円

行政改革推進費 752万円

戸籍住民基本台帳費

2,974万円

賦課徴収費 1,940万円

町長選挙費 1,210万円

常備消防費 2億6,510万円

非常備消防費 6,516万円

消防施設費 2,448万円

各会計の予算額

一般会計	95億 800万円
国民健康保険	31億1,120万円
老人保健	3億5,100万円
介護保険	17億6,590万円
簡易水道	9,910万円
農業集落排水	4億2,750万円
生活排水処理	8,700万円
町有温泉	9,960万円
奨学資金貸付	2,620万円
後期高齢者医療	2億6,160万円
公営企業(水道)	1億7,968万円

平成20年度
159億
を

一般会計の主な事業

教 育

教育指導費	1,552万円
語学指導費	1,586万円
小・中学校管理費	4億7,854万円
小・中学校教育振興費	3,036万円
幼稚園費	2,663万円
社会教育センター費	877万円
公民館費	3,591万円
図書館費	320万円
文化振興費	793万円
文化財費	4,182万円
生涯学習センター費	1,656万円
星野富弘美術館費	1,279万円
体育施設費	4,037万円
学校給食施設費	6,760万円
総合グラウンド整備費	9,609万円
岩崎グラウンド整備費	2,170万円

建設・土木

道路維持費	6,396万円
道路新設改良費	2億6,380万円



道路改良

橋りょう維持費	763万円
橋りょう新設費	659万円
河川改良費	1,933万円
水防対策費	1億 335万円
砂防費	2,793万円
港湾管理費	1,178万円
都市下水路事業費	461万円
住宅管理費	1億2,702万円

農林水産業

農業委員会費	762万円
農業振興費	1億1,302万円



デコボンハウス

農道施設事業費	4,742万円
農業施設管理費	1,756万円
中山間地域等直接支払事業費	4,377万円
地積調査費	1億6,199万円
林業振興費	3,852万円
林道費	1,779万円
治山事業費	1,369万円
水産業振興費	1,575万円
漁港建設費	1億8,992万円

『個性の光る活力あるまちづくり』

町長の施政方針(要約)

社会情勢と芦北町の状況

平成20年度の我が国の経済情勢は、緩やかなペースで「いざなぎ景気」を超えて戦後最長と言われていますが、経済のグローバル化が進む中で原油価格の高騰等経済動向の先行きには依然として不透



明なものがあ
り、我々地方の
町にありまして
は実感の伴わな
い景気回復とな
っています。
そうした中
で、平成20年度
の地方財政計画
では、「骨太方
針2006」に
沿って引き続き
国の歳出抑制に
努力することが
うたわれていま
す。

一方、地方経
済が疲弊する中
で地方重視の方
針を反映し平成
20年度の地方交
付税及び一般財
源の総額は、わ
ずかながら増
額確保されてお
りますが、合併
に伴う財政支援
が平成19年度
でほぼ終了した
ため、町財政は
引き続き厳しい
運営を強いられ
ることになります。

このような現
状を踏まえ、
芦北町におきま
しては歳入に見
合った財政運営
を図るために
行政改革を遂行
するなかで「芦
北町行政改革大
綱」の実

施に鋭意取り組んでいきます。

まちづくりの基本方針

芦北町のまちづくりは、芦北町総合計画において「個性の光る活力あるまちづくり」を基本理念とし、「すべては21世紀を担う子どもたちのために」をテーマとした施策を展開しています。

●魅力的な地域づくり

●人にやさしい快適なまちづくり

●生きがいある働き場づくり

●豊かな心の人づくり

●生活を支える基盤づくり

●効率的な行政組織づくり

の6点を柱として具体的な施策を行います。

具体的な取り組みについて

「魅力的な地域づくり」では、地域住民の活動を支援する「ふるさとづくり基金」の運用事業により、人材の育成を目指します。また、住民主体による知恵や創意工夫を活かした個性ある地域づくりを推進する「芦北町まちづくり支援事業」を引き続き実施します。



「ふるさとづくり基金」芦高生による「フィリピン森づくりボランティア体験事業」

「人にやさしい快適なまちづくり」では、健康づくりセミナーや健康教室等を開催し、町民の健康に対する関心を高めます。また、湯北地区、小田浦地区の防水対策に取り組みます。その他、事務所・店舗等への浄化槽設置を推進します。



水防対策に取り組む湯北地区（平成18年災害時）

「生きがいのある働き場づくり」では、第一次産業の就労の安定化と収益性の向上を目指すため、「未来につなげる芦北町農林漁業振興基本条例」を基に地域資源の有効活用に取り組みます。

その一環として、地域資源活用交流促進施設（仮称第2

体育館）を建設し、都市・地域住民の交流の場としての活動を推進します。また、あした牛、デコボン、柿「太秋」等のブランド化を図り、地産地消対策及び広域農道の早期完成並びに中山間地域総合整備事業における生産基盤や環境基盤の整備に取り組みます。その他「芦北町町産材木造住宅建築支援事業」の展開や海浦漁港の整備を行います。



支援金を受けて建築中の町産材木造住宅

「豊かな心の人づくり」では、芦北町教育理念「温故創新」の下、児童生徒の将来を見据え学習意欲を高めるため、生徒の英語検定料を助成

するとともに学校教育環境の改善に向けて、湯浦中学校体育館の改築工事を実施します。また、総合グラウンドの完成で、スポーツを通じた地域づくりに邁進するとともに、グラウンドゴルフなど多目的に使用できる、岩崎グラウンド整備事業にも着手します。文化活動の推進については、佐敷城跡が国史跡として指定を受けることから、記念事業としてシンポジウムを開催します。また、田浦地区における農村環境改善センターを文化施設として整備を図るため、文化ホール基本計画の策定に取り組みます。



現在の農村環境改善センター

「生活を支える基盤づくり」では、芦北インターに関連する道路網の整備として、外ヶ平湯治線の道路拡幅工事や花東本町線の測量設計業務を実施します。



花東本町線

「効率的な行政組織づくり」では、少子高齢化問題や国の構造改革などで市町村を取り巻く環境は激変しており、「行政評価システム」を導入し、効果的・効率的な行政運営ができるような体制づくりに取り組んでいます。これらの取り組みを含めた各種行政情報の提供を広報紙、ホームページなどで積極的に進め、町政の透明性を高めま

結 び

今後も、国・地方を通じ、引き続き「骨太の方針2006」に沿って歳出の抑制がこなわれ、また少子高齢化等で右肩下りの財政状況が続くなかで、いかに質の高いサービスを町民に提供できるかを主眼に置き、国政の動向や本町の将来を見据え、町民とのコミュニケーションを大切に行政運営を行います。



事務事業優先度評価

平成19年度 補正予算（一般会計）

6,320万円 減額補正

補正予算の概要

今回の補正は、一部追加もあるが、総じて国県支出金等を伴う各種事業の実績見込みによる減額が主なものとなっている。

一般会計補正の主なものは、地方バス路線維持対策補助金で、バス利用者の減と燃料等の高騰により251万円を追加。し尿処理費で、処理量の減により1,674万円の減額。

商工業振興費で、先行取得した旧ブルーマリンあしきたの土地購入費2,503万円を土地開発基金へ返還。

教育費で、幼稚園移転に伴う諸費用223万円を追加。

総合グラウンド整備費で、造成工事ほか入札残2,812万円の減額等が計上された。



旧海浦小学校跡へ移転した芦北幼稚園

会 計 名	補正額（増減）	会 計 総 額
一 般 会 計	6,320万円減	104億7,359万円
国民健康保険	6,070万円増	31億9,251万円
老 人 保 健	2,692万円増	32億6,210万円
介 護 保 険	20万円増	18億4,310万円
簡 易 水 道	7,804万円増	2億4,627万円
生活排水処理	1,200万円減	6,000万円
町 有 温 泉	0	1億 819万円

陳情5件を採択2件を不採択

12月・3月定例議会に提出された陳情のうち7件については下記のとおり決定した。

件 名	陳 情 者	付託先	結 果
県産木材の需要拡大についての要望書	県産木材の需要拡大県民運動推進会 会長 潮谷義子氏 水俣芦北地域木材需要拡大協議会 会長 木谷 勝氏	建設経済	採 択
町道川獄線における部分改良とガードレールの整備に関する陳情	市居原区長 深川昭明氏 ほか 6名	建設経済	採 択
町道田川瀬戸線田川橋の改良に関する陳情	田川区長 山下勝喜氏 ほか 25名	建設経済	採 択
野添集落から国道3号バス停（野添バス停）までの里道の町道認定についての陳情	小田浦7区長 谷崎輝明氏 ほか 7名	建設経済	不採択
芦北町大字大野（本村農道、生活路）の町道認定についての陳情	大野区長 坂本富雄氏 ほか 46名	建設経済	不採択
町道花北向町線新設事業の早期実現に関する要望書	乙千屋区長 川口 登氏 ほか 5名	建設経済	採 択
防火水槽設置に関する陳情	塩浸区長 宮川宣昭氏 ほか 46名	総 務	採 択

第1回 臨時議会

スクールバスの購入費(3台)の売買契約 1,533万円を可決

第一回臨時議会は、1月29日召集され、1日間の会期で開催した。

審議内容は以下のとおり

平成19年度一般会計補正予算(第8号)について

繰越明許費補正として、

地域資源活用総合交流促進施設整備事業

費(仮称第2体育館)3億4,813

万円・海浦漁港整備

事業費7,070万

円を追加

芦北町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

町営住宅射場団地10戸及び集会所1戸の共用開始に伴い、条例を改正

財産の取得について

田浦小・海浦小・小田浦小の統合に伴い、スクールバス3台の購入費1,533万円

以上、上程された3件について審議した結果、全会一致で原案のとおり可決した。

また、教育委員会委員の任命1名、固定資産評価委員会委員3名の選任について同意した。



《人事》

同意

教育委員



黒田宏信氏
(海浦)

固定資産評価審査
委員会委員



池崎美利氏
(田浦町)



福山功敏氏
(高岡)



石井忠也氏
(花岡)

第2回 臨時議会

平成20年2月20日

工事請負契約の締結について(可決)

▼地域資源活用総合交流促進施設新築工事

契約金額

3億4,335万円

契約の相手方

松下・佐藤建設工事共同企業体



建設中の仮称第2体育館

▼海浦漁港改修工事

契約金額

8,484万円

契約の相手方

株式会社 木崎建設

芦北町薩摩街道佐敷宿交流館 指定管理者の指定でスタート

総務常任委員長報告



薩摩街道佐敷宿交流館

総務常任委員会に付託されました案件につきまして、委員会における審査の経過並びに結果について報告を申し上げます。

本委員会に付託されました案件は、予算関係1議案、条例関係4議案、陳情1件でございます。

まず、条例の審査から申し上げます。

議案第26号「芦北町課設置条例の一部を改正する条例の制定について」申し上げます。

これは高齢者対策課を削り、住民生活課に介護保険、また新しく発足する後期高齢者医療に関するものを加え、福祉課に高齢者福祉に関するものを加えるための改正であります。

説明後は質疑及び討論もなく、議案第26号については全会一致で原案のとおり可決す

ることに決しました。

次に、議案第27号「芦北町職員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について」申し上げます。

これは集中改革プランに基づき、現行の町長部局職員242人を231人に、教育委員会事務局職員29人を25人に改め、職員の定数を285人から270人に改正するものであります。

説明後は質疑及び討論もなく、議案第27号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第28号「芦北町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について」申し上げます。

これは派遣職員の転居等の経費に関するものについて追加し、県内及び隣接地域への宿泊を伴わない公用車使用時の出張等について日当を現在の2分の1に減額、また宿泊料の甲、乙地方の適用区分を改正するものであります。

主な質疑として、公用車使用時の出張の際の日当を2分の1にすることは、芦北町独

自の改革かとの質疑に対し、調査を行い検討した結果、県内または隣接する地域への日当は支給しない自治体もあるが、第一段階として2分の1にするものであるとの答弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第28号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第38号「芦北町薩摩街道佐敷宿交流館の指定管理者の指定について」申し上げます。

これは地方自治法第244条の2第3項及び芦北町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第6条第1項の規定により、地元の佐敷地区町並み保存会を指定するものであります。

説明後は質疑及び討論もなく、議案第38号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第13号「平成20年度芦北町一般会計予算」について申し上げます。

平成20年度の一般会計予算総額は、95億800万円です。

前年度比1.1%の減となっており、今後さらに厳しい財政運営を強いられる状況にあります。このような中、芦北町行政改革大綱に基づいた予算編成が行われております。

以下、審査過程において論議された主なものについて申し上げます。

【議事事務局】

まず、議事事務局では、現在1名欠員となっております議員の補欠選挙を想定した報酬等が増額となっております。

【総務課】

総務課では、裁判員制度の創設に伴うシステム改修費をはじめ、リース期間満了になるパソコンの入れ替え、集中管理公用車1台の購入、町長選挙をはじめ農業委員会委員選挙に係る経費等が、新たに計上されております。

主な質疑として、防災行政無線の戸別受信機について、

紛失した場合はどうなるのかとの質疑に対し、紛失はあまり考えられないが、町が貸与している形であるので転出等の際には返却してもらうことになるとの答弁でありました。

また、里道・水路の払い下げについて、広報の強化と市場価格よりも高い現状価格を見直してはどうかとの質疑に対し、広報については今年度は行っていないが18年度に2回行っている。また価格の設定については、16年度に固定資産評価額の1.3倍を基本に設定しているが、今後は見直しも考えていかなければならぬとの答弁でありました。

【企画財政課】

企画財政課では、大関湧水「真つ清水」の販路拡大と特産品としての定着化や芦北町薩摩街道佐敷宿交流館を拠点とした住民の相互交流及び歴史的資産と街なみを活用したまちづくりの推進等に要する経費が計上されております。

主な質疑として、肥薩おれんじ鉄道の運賃激変緩和対策補助金は今年度で打ち切られるのかとの質疑に対し、通学

定期については平成19年度が10%の補助で段階的に5%ずつ落ちており20年度は最終年度で5%の補助を行うとの答弁がありました。

【田浦基幹支所】

田浦基幹支所では、公用車の2台の減について質疑があり、本庁と基幹支所の1台当りの人数割りをしたところ大差があるということから、本庁に2台まわしたものであるとの答弁でありました。

【税務収納課】

税務収納課では、小字図集成図作成委託料についての質疑に対し、地籍調査が終了した翌年度に集成図を作成しており、20年度は告地区の集成図を作成するとの答弁がありました。

以上が論議されました主な内容であります。議案第13号につきましては、質疑終了後討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

最後に、陳情第8号「防火水槽設置に関する陳情」について申し上げます。

本件は、陳情代表者であります塩浸区長・宮川宣昭氏ほか46名から提出されたものですが、周辺に防火水槽がなく塩浸川からの取水が困難であるため防火水槽の設置を要望するものです。

本件につきましては、質疑及び討論もなく、陳情第8号につきましては、全会一致で採択すべきものと決しました。

以上で、総務常任委員会に付託されました事件の審査経過と結果の報告を終わります。



塩浸防火水槽設置予定箇所

地域資源活用総合交流施設（仮称第2 体育館）の建設に着手

建設経済常任委員長報告

建設経済常任委員会に付託されました案件のうち、予算関係6議案、条例関係1議案、陳情1件について、本委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

あります。

法律改正に伴う条例制定というところで、執行部説明後は質疑及び討論もなく、議案第25号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

まず、議案第25号「芦北町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について」申し上げます。

次に、議案第13号「平成20年度芦北町一般会計予算」について申し上げます。

審査過程において論議された主なものを申し上げますが、水道課及び農業委員会事務局についての質疑はありませんでした。

これは工場立地法の特例処置として、工場又は事業場の緑地面積率及び環境施設面積率について、国の定める基準の範囲内で条例を定め、企業立地の促進を図ることを目的に制定するものです。この面積率緩和により、町が企業誘致に熱心に取り組んでいる姿勢を対外的にPRでき、企業誘致の一助となるメリットが

まず環境衛生課では、広域事務組合でのし尿収集業務が平成20年度で廃止される理由は何かとの質疑に対し、浄化槽の普及や下水道の継ぎ込みが増えるに従って、し尿の汲み取り量が減り経営が成り立たなくなっているからとの答弁でありました。

象になるかとの質疑に対しては、平成20年度から補助対象となるよう要綱を改正するとともに、単独浄化槽からの転換についても、補助金の加算を行うこととしたとの答弁でありました。

【農林水産課】

農林水産課では、地域資源活用総合交流施設が完成したから人員を常駐させるのかとの質疑に対し、今後の課題であり協議事項としていくが、併設するしろやまスカイドームもある点も十分検討するとの答弁でありました。

また、本町の林業振興の目玉である芦北町木造住宅建築支援事業補助金の経済効果はどうかとの質疑に対しては、今ようやくこの事業が理解されてきている。もっと使い勝手が良くなるようにと要項等もやりかえたとの答弁でありました。

【地籍調査課】

地籍調査課では、地籍調査事業は平成21年度で完了するのかとの質疑に対し、今の予定では4、5年かかる予定でいるが、国、県の補助金及び町の対応次第と思うとの答弁でありました。

【商工観光課】

商工観光課では、東海カーボンの増設に対して誘致企業立地促進補助金を交付したの

は何かとの質疑に対し、県が企業立地補助対象企業として認めたので町も補助金を交付したが、誘致という用語は適さないもので1月に「誘致」を削除した要項に変えているとの答弁でありました。

【建設課】

建設課では、小田浦地区の排水対策事業は遊水池水路の拡幅だけで終わるかとの質疑に対し、平成19年度に解析業務を行った結果、狭隘部分を5メートルに拡幅すると自然



(株)東海カーボン田ノ浦工場

流化能力は高まり、強制排水ポンプとの併用によって駅通りの浸水は完全解消されるとの解析結果が出ているとの答弁でありました。

また、湯北地区の排水対策は何年計画でするのかとの質疑に対しては、平成20年度から23年度までであり、20年度は設計のみを行うとの答弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第13号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【簡易水道事業特別会計】

次に、議案第17号「平成20年度芦北町簡易水道事業特別会計予算」について申し上げます。

主な質疑として、平成20年度において、昭和60年度に借りた2件分の残債を繰上償還するが、現在の利率と借換え後の利率、またそれによる利息の差額はとの質疑に対し、現在は6.7%だがこれを2%になると仮定して利息分で約420万円得するとの答弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第17号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【農業集落排水事業特別会計】

次に、議案第18号「平成20年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算」について申し上げます。

主な質疑として、繰上償還とは具体的にはどういうこと

かとの質疑に対し、1.7億7,344万円の残債のうち、平成3年度借り入れ分以前で5%以上の金利のものについて、繰上償還できる制度ができたので今回実施する。対象となる1億9,430万円を借り換えることで、5,585万円の経費削減が見込まれるとの答弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第18号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【生活排水処理事業特別会計】

次に、議案第19号「平成20年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算」について申し上げます。

主な質疑として、地方債の残債が約2億3,100万くらいあるが、交付税で戻ってくるのはこの内どれくらいあるかとの質疑に対し、60%程度が交付税措置されるとの答弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第19号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【町有温泉事業特別会計】

次に、議案第20号「平成20年度芦北町有温泉事業特別会計予算」について申し上げます。

主な質疑として、温泉入浴客が落ち込んだ原因はどう分析しているのかとの質疑に対し、計石温泉はほぼ同じで推移すると思うが、ヘルシーパークのレジオネラ発生問題と大野温泉センターについて

は地元の利用が減っているからと思うとの答弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第20号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【水道事業会計】

次に、議案第23号「平成20年度芦北町水道事業会計予算」について申し上げます。

主な質疑として、前年度分の損益計算書では未処分利益剰余金が4,332万1千円なのに、当年度では3,420万円になっているのは何故かとの質疑に対し、前年度は決算見込みであるが当年度は予算ベースであるとの答弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第23号については全会一致で原案のとおり可決すること

に決しました。

最後に、陳情第32号「町道花北町線新設事業の早期実現に関する要望書」について申し上げます。

本件は、陳情代表者であります乙千屋区長かつ公民館長・川口登氏ほか4名から提出されたものですが、町道花北町線が新設されると、本町の発展のみならず、乙千屋、道川内、花岡、諏訪地区住民にとって「安全・安心」なまちづくりに貢献する道路となるので、その早期実現を要望するものです。

用地の問題はありますが、今後は幹線となる部分でもあり事業は進めていくべきと判断により、陳情第32号につきましては、全会一致で採択すべきものと決しました。

以上で、建設経済常任委員会に付託されました事件の審査経過と結果の報告を終わります。



ヘルシーパーク芦北

佐敷城跡国指定史跡に決定

文教厚生常任委員長報告

文教厚生常任委員会に付託されました案件につきまして、委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

本委員会に付託されました案件は、予算関係6議案、条例関係1議案でございます。

まず、議案第24号、「芦北町後期高齢者医療に関する条例の制定について」について申し上げます。

これは高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、後期高齢者医療を平成20年度から実施することに伴い、法等に定める無い町が行う事務について、条例で規定する必要がある為の制定であります。

法律制定に伴う条例制定ということで、執行部説明後は質疑及び討論もなく、議案第24号については全会一致で、原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第13号、平成20年度芦北町一般会計予算について申し上げます。

審査過程において論議された主なものについて申し上げます。

まず、高齢者対策課における社会福祉施設費の老人ホームの管理、運営費と高齢者福祉費については、福祉課へ再編されます。

主な質疑として、老人公衆浴場無料入浴料補助金が昨年より減少しているが、この傾向は何かとの質疑に対し、交付枚数は昨年と同様とされているが、本人申請での交付ということから減少傾向にあるとの答弁でありました。

【福祉課】

福祉課では、保育

所費が各保育所において、すべて減額になっているが全体的に減額になっている理由はとの質疑に対し、園児の見込み数の減により賄い材料費が減少している。また、第1・第2保育園の統合や園児の減による保育士等の業務委託の減が大きな要因との答弁でありました。



閉所された湯浦第2保育所

【住民生活課】

住民生活課では、緊急医療ということで、盛んに問題になっているが、小児救急地域医療研修負担金について、どういう研修を行うための負担金かとの質疑に対し、水俣、芦北地区においても、小児科医が非常に少ない現状にあるため、内科医の先生を対象とした、小児救急の研修会を県の補助を受けて、医師会に委託をしているとの答弁でありました。

【教育課】

教育課では、英検受験補助金が昨年から始まったが、19年度の実績として、どのような結果が表れているかとの質疑に対し、最終的にまとめた結果はでていないが近日中に報告したい。英検の資格をとるという目標を持つことで学習意欲に繋がっているとの答弁でありました。

また、幼稚園が海浦小跡に移転することにより、送迎などで平成20年度の申し込みに変動があったと思うが、これまで佐敷幼稚園に預けておられた保護者の声は把握してお

られるかとの質疑に対し、具体的に把握していないが、今回の移転により園児の送迎ができないとの声は聞いている。何名ぐらいおられるか現在、調査中である。今後、費用対効果を考えながら対応を考えたいとの答弁でありました。

【生涯学習課】

生涯学習課では、岩崎グラウンドの整備について、周囲は木を植えてあるが、取り除いて整備をするのかとの質疑に対し、20年度は、地質調査・測量設計・敷地造成工事であり、回りの木については、十分検討したうえで整備していくとの答弁でありました。

また、佐敷城跡が、県の指定から国の指定へなることで、文化財としての価値がさらに高まることだが、どういうふうにかかわるのかとの質疑に対し、国指定の文化財となることにより、歴史的に価値の高い、遺跡、史跡であるとして認められたと言うことで、品格がたかまる。また、財政支援をするということで、交付税の中に、維持管理費として算入されるとの答

弁でありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第13号については全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【国民健康保険事業特別会計】

次に、議案第14号「平成20年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算」について申し上げます。

主な質疑として、後期の高齢者交付金の後期高齢者医療分は国から来ると思うが、前期の高齢者交付金というのは直接、国からかとの質疑に対し退職者医療制度の廃止に伴い、65歳から74歳までの被保険者全体に占める割合によって、社会保険者が負担します基金からとの答弁でありました。

以上、議案第14号については、質疑終了後は討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【老人保健事業特別会計】

次に、議案第15号「平成20年度芦北町老人保健事業特別会計予算」について申し上げます。

平成20年度から後期高齢者医療制度に移行するため、実質的には老人保健制度での給付は平成20年3月診療の1か月分となる、ただし、月遅れ請求分については平成22年3月請求分まで老人保健制度で医療給付を行うため、特別会計は平成22年度まで継続します。予算総額は3億5,100万円であります。

以上、議案第15号については、質疑及び討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【介護保険事業特別会計】

次に、議案第16号「平成20年度芦北町介護保険事業特別会計予算」について申し上げます。

主な質疑として、認定等の資料を作る場合、民間の施設も入れた協議会等の組織を作っているのかとの質疑に対し、高齢者対策課に申請書を提出していた、それを広

域行政事務組合に送付すると、訪問調査員が調査をし、それに基づいて、主治医等の意見書を書いてもらい、広域行政事務組合にある認定審査会で、火曜日と木曜日に審査をし判定をしているとの答弁でありました。

以上、議案第16号については、質疑終了後は討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【奨学資金貸付事業特別会計】

次に、議案第21号「平成20年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算」について申し上げます。

主な質疑として、貸付の人数はどうなっているかとの質疑に対し、高校が継続5名、新規5名、大学が継続20名、新規20名、入学準備金の貸し付けが20名となっているとの答弁でありました。

以上、議案第21号については、質疑終了後は討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【後期高齢者医療事業特別会計】

次に、議案第22号「平成20年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算」について申し上げます。

この事業は、75歳以上の後期高齢者を対象とする独立した医療制度で、高齢化の進展



国指定史跡に決定された佐敷城跡

に伴い老人医療が増大するなか、将来にわたり医療保険制度を持続可能なものとしていくため、新たに平成20年度から実施するもので、県内全市町村が加入する熊本県後期高齢者医療広域連合が運営主体となります。ただし、保険料の徴収、申請や届出の受付、保険証の引渡し等の事務は市町村が行う事になります。予算総額は2億6,160万円であります。

以上、議案第22号については、質疑及び討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

以上で、文教厚生常任委員会に付託されました事件の審査経過と結果の報告を終わります。



宮尾議員

学校給食の 安心・安全について!!

質

食品の産地偽装など、尊い信頼を欺く私利私欲の、人としてはすべき事件が多発し、直後に中国産冷凍食品の農薬混入事件が発生、消費者を不安のどん底に落し入れた。食糧自給率が40%にも満たない我が国が、何を基準に豊かな国と勘違いしたのか、大食い、グルメ番組が多く放送され、偽の幸せを教え込んでいく。ただ、一連の事件で食の本質を問い始めた今が、品格のある日本人を取り戻す絶好の機会である。そこで、心と体の成長の源である学校給食は、食材の産地を含め、安全に作られているか。農薬混入事

件などの食材はなかったか。

答 教育長

財団法人熊本県学校給食会から購入している。

児童生徒の安全な発達と食生活の改善に寄与する物質の購入から、調理、搬送にいたるまで、衛生管理を徹底し、安全を十分に図っている。

質

地産地消は多く取り入れているか。

答

教育長

芦北産、地元産については物資の価格や継続的な供給量等から、満足できる段階ではないが、地産地消の立場からしっかりと取り組んでいきたい。

質

給食は安価で、良い事業だと思

うが、滞納はないか。また、現時点での問題はありますか。

答

教育委員長

19年度、今年は滞納者は、ほとんどいない。たいへん有難いことである。

質

安くて安全な給食の負担金でさ

え払わない親も他町ではある。「払えない」から「払わない」と変わる風潮に

注意しているか。また、9才までの医療費や英検の無料化など、幾多の行政サービスに對しても感謝を忘れがちである。毅然たる態度で町民に説明する必要があると考えるが、見解を問う。

答 町長

スタートした時点では、たいへん感謝されたが、恒常的になっていくと、有難いという感謝の気持ちも希薄化していく。いずれにしても、事業の性格次第であるが、応分の有形・無形の利益、財産を構築できるものについては、受益者負担の原則はきちっと通していく。



たのしい給食の時間



大野小学校の米づくり

教育行政三法改正への対応は どのようなになっているのか!!



川尻議員

質

今年4月1日から施行される教育基本法の改正については、教育行政の中心的な担い手である教育委員会がより高い使命感をもって責任を果たすため、教育委員会の責任体制の明確化や改正の充実、地方分権の推進等について通知があつています。

答

教育委員長

今後ますます地方行政における教育委員会の役割、その中心的な担い手としての責任が重くなると受け止めています。

質

4月1日から施行されるが、本町教育委員会としての適切な取るべき対応策について、検討、協議を重ねてこられたと考えるがその内容について聞きたい。

答

教育委員長

教育委員会として話し合ったのは、地方分権に関する件で、教員赴任が弾力化される。

教育委員会の定数がかわり

その構成の中に保護者代表が入らなければならないとなっている。

質

検討、協議の結論をもとに本町教育委員会として具体的に対応される方策は何か。

答

教育委員長

実行するにあたっては、法改正をしなくてはならないので、今後法改正に向け詰めをやつていかなければならないと考えています。

質

この地方教育改正法の中に県知事、市町村長に関係のある事柄が盛り込まれている。

芦北町長として、どのように受け止めて、どう対応される考えか。

答

町長

いくつかあるが、事務所掌の弾力化については、それぞれの自治体の実状や住民ニーズによることであると受け止めています。

今後、総合的行政推進の観点からの検討課題であると認識している。

集中改革プランの実 施状況と成果を問う



熱心に審議する教育委員会

質

本町集中改革プランの策定が公表されて二年が経過した。改革の具体的な取り組みを集中的に実施するため、5年間の具体的な取り組みを住民にわかりやすく明示するようになっている。

総務省は可能な限り目標を数値化して具体的かつ住民にわかりやすく指標を用いることとし、特に職員定数管理の適正化計画については退職者数及び採用者数の見込みを明示するよう助言している。

このプランの具体的な進捗状況はどうなっているのか。

答

町長

平成20年4月に実行に移す6件を加えると37件になり全体の65%になる。

平成20年度に16件、21年度に3件、22年度に1件を実行する計画である。

質

総務省は計画的な行政改革の推進と説明責任の上から、住民にわかりやすく公表するよう指導している。

住民にわかりやすく公表しているか。

答

町長

平成19年度芦北町行政改革実施計画書の策定においては、今まで以上にわかりやすい計画書となるよう指示している。

実施計画書に合わせ、改革事項ごとの実施内容をより具体的に記載するなど、わかりやすい報告書となるよう努めている。

公表方法については概要を「広報あきた」で、詳細を芦北町の公式ホームページで行っている。

： 議会のうごき ：

- 1月 4日 賀詞交換会
 13日 熊日三太郎駅伝大会
 14日 芦北町成人式
 17日 町村長・町村議会議長・町村幹部職員研修会
 25日 議会運営委員会
 28日 県町村議会議長会第5回理事会
 29日 第1回議会臨時会
 2月 17日 第9回芦北うたせ杯ジュニア空手道大会
 19日 県町村議会議長会第58回定期総会
 20日 第2回議会臨時会
 28日 芦北町教育研究大会
 29日 議会運営委員会
 3月 5日 議会定例会（開会）
 7日 各常任委員会（～13日）
 9日 海浦小学校閉校式
 15日 小田浦小学校閉校式
 16日 芦北町消防点検
 17日 議会定例会（一般質問）
 19日 議会定例会（閉会）
 21日 熊本県市町村総合事務組合議会
 25日 水俣・芦北地域振興財団理事会
 26日 水俣芦北広域行政事務組合議会
 30日 芦北うたせマラソン大会

海浦小・小田浦小で 閉校式

学校再編により、海浦小学校が3月9日に、小田浦小学校で3月15日に閉校記念式典が行われた。

また、4月27日には、田浦小学校開校記念式典が行われた。



海浦小学校閉校式



小田浦小学校閉校式

議会広報特別委員会

委員長	元山 秀志
副委員長	前田 徹一
委員	宮尾 秀行
宮島 康浩	白坂 逸男
古村 逸男	寺本 順一

咲いたと思ったらたちまち散ってしまう潔さ、はかなさが象徴でもあります。来年の春は、各地域で花見を楽しむ多くの姿を見たいものです。

（前田）

わが町において多く見られていました「桜」の名所での花見の姿が近年めっきり少なくなっています。「桜」は日本にとって絶対的な美しさの象徴であると言う人もいます。

今年も足早に桜の季節が過ぎようとしています。日本の代表的な花「桜」昔より花見と言えは貴族や上層階級の人に限られていたそうですが、時の將軍徳川吉宗の時代より庶民の娯楽として、大いに花見を楽しむ習慣が付き現在に至っているようです。



編集後記